

広島アルミニウム工業株式会社 八重製造部 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業株式会社 八重製造部

(2) 事業所の所在地

〒731-1522 広島県山県郡北広島町新郷1番5号

(3) 業種

アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21（2009）年度を基準年度とし、平成22（2010）から平成27（2015）年度までの6年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：内製高 (百万円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成21年度	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
エネルギー 起源CO ₂	3.496	2.958 -15.1%	3.312 5.3%	3.401 2.7%			
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	3.496	2.958 -15.1%	3.312 5.3%	3.401 2.7%			
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)	1.321	1.185 -10.3%	1.246 5.7%	1.222 7.5%			
実績に対する 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・内製高が増えて原単位低減出来ているが、エネルギー消費を抑える為に不良低減や生産性の向上をまだまだ進める必要がある。 ・電気事業者の排出係数が変更になった為、3%の低減に止まったが前年と同じ場合は原単位3.108で対基準年度比11%の削減率となる。 						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	重油原単位の低減	アルミ溶解重量に対する重油 19L/t o n 削減	・アルミ溶解燃焼空気比の設定変更
2	LPG原単位の低減	廃液処理量に対するLPガス 2.5m ³ /t 削減	・廃液設備の熱損失防止（連続運転） ・廃液設備の処理能力維持 ・ボイラー運転の燃焼調整
3	電力原単位の低減	・生産数に対するエネルギー消費原単位 3.3%削減 ・内製高に対するエネルギー消費原単位 0.1%削減	・冷却水チラーのポンプ運転制御 ・廃液冷却水ポンプの更新 ・エアフロー計設置による確認 ・エネルギーモニタの設置
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃液排出量の削減	廃液量を18%削減	・油圧配管改修による油漏れの低減
2	紙使用量の削減	紙使用量を12%削減	・裏紙使用、両面使用

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。